

平成24年度 指定管理者施設管理評価シート

部 教育委員会事務局 課 児童保育課

施設名称		〔40〕 東京都台東区立池之端児童館				
指定管理者の名称		社会福祉法人台東区社会福祉事業団		指定期間	H22.4.1 ~ H27.3.31	
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2)類似施設の管理実績	児童館7館、15こどもクラブ(平成23年末まで13こどもクラブ)					
(3)経営状況	(23年度決算ベース)〔社会福祉事業会計〕 収入2,801,147,502円, 支出2,609,179,684円, 収支差額191,967,818円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区池之端2-3-3					
(2)設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3)利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日：午前9：30～午後6：00、日曜日(第三日曜日を除く)：午前9：30～午後6：00一部開放。 休館日 年末年始、祝祭日(5月5日は開放)					
(5)規模	RC3階建て 遊戯室・図書室・音楽室・図工室・こどもクラブ室					
(6)人員体制	常勤職員3名、短時間職員4名					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	児童の福祉を目的とする事業 児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 健全な遊びを通して児童の集团的及び個別指導を行なうこと その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2)自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算	委託料	38,746,000	35,168,000	31,863,000	37,416,000	31,549,000
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	38,746,000	35,168,000	31,863,000	37,416,000	31,549,000
決算	委託料	27,939,265	29,763,640	30,927,035	33,551,534	34,008,595
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	27,939,265	29,763,640	30,927,035	33,551,534	34,008,595
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称		単位	20年度	21年度	22年度	23年度
開館日数		日	334	333	334	335
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値(25年度)	21年度	22年度	23年度
利用者数		人	24,000	19,451	22,524	23,901

7. 平成23年度評価結果に対する現在までの取り組み				
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への情報提供、情報交換に務め、信頼関係を深めることを強化した。また中高生と赤ちゃんとのふれ合いや地域の公園での活動など、異年齢と一緒に過ごす活動を継続した。 ・利用者にわかりやすい環境整備、遊びの住み分け等を工夫した。 ・幼児親子が長時間利用しやすいように、3階の音楽室を多目的に使用できるよう改善した。 ・子ども自主企画の支援を強化した。 				
8. 評価項目				
		3: 協定等の水準を上回っている。 2: 協定等の水準どおりである。 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。	0: 協定等の水準を下回っている。 -: 評価対象外項目。	
評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.1]	(a)施設の目的達成 (b)サービス水準 (c)職員配置 (d)職員研修 (e)案内・接遇	[2] [2] [2] [2] [2]	(f)開館時間等の遵守 (g)自主事業の成果 (h)個人情報保護 (i)緊急時対応 (j)警備・防犯体制	[2] [-] [2] [3] [2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 (b)備品の管理 (c)清掃・衛生管理 (d)施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e)危険箇所等の確認 (f)管理記録の作成・保存 (g)業務委託の事前承認 (h)省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.4]	(a)利用者・第三者機関の評価 (b)苦情・要望への対応と報告 (c)利用者数の目標達成	[3] [2] [3]	(d)利用しやすい環境整備 (e)関係団体・地域との関わり	[2] [2]
(4)歳入歳出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 (b)経費縮減のための取り組み	[2] [2]	(c)収支計画の達成 (d)利用料等の徴収・管理	[2] [-]
9. 評価				
S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。				
評価の観点	評価	説明		
(1)事業の運営	A	幼児親子専用で遊べる空間づくりや、遊びの住み分けなど、利用者にとってわかりやすい環境を整備するとともに、地域の公園遊び、子ども自主企画の支援強化など年齢に合った活動を行い、良好に運営されている。また、緊急時対応の避難訓練も定期的に行った。		
(2)施設の維持管理	A	施設の老朽化が進んでいるが、自主的な修繕を実施し、適正に管理されている。		
(3)利用者の満足度	S	各年代の子ども達が利用しやすいよう各室の環境整備を行うとともに、子ども自主企画の遊びや行事などの支援を強化することにより利用者数が増加し、児童館に満足しているアンケート結果も出ている。		
(4)歳入歳出	A	職員の異動による人件費増や施設の小破修繕の実施により決算額が増加したが、節電に努力し、光熱水費を削減した。		
10. 総合評価				
		良好 妥当 要努力 要改善 不適		
		妥当	各年代の子ども達が利用しやすい環境整備や事業を行うことで、利用者数の増加と利用者の満足度が高まっており、児童健全育成の拠点としての役割を果たしている。	
11. 平成24年度評価結果に対する今後の対応				
様々な地域の要望が児童館に寄せられることが多いが、「本来の子育てとは、健全育成にとって大切なことは何か」を児童館として発信しながら、利用者との信頼関係を深め、児童健全育成の拠点としての役割を果たしていく。				